

News Letter vol.53 2012.10.12

アメリカウェストバージニア州のグレンビル大学で3ヶ月間の研修

派遣国名:アメリカ合衆国 受入機関:グレンビル大学

派遣期間: 2012.6.26~2012.9.23

ウェストバージニア州はエパレティア山脈が貫通していて、州面積の4分の3が山地です。どこに行っても麗な森と川、溪谷が広がり、野生の鹿とウサギを簡単に見つけることができます。森林がよく管理されていて、森林の中にはレクリエーション施設と公園が、羨ましいぐらいたくさんありました。グレンビル州立演習林では、広い敷地に様々なゾーンを設けて Long-term の観察を続けていました。樹齢、立木密度(間伐)、山火事などの外部からの影響などの条件を変えながら、森林経営・管理に一番適した方法を探っていました。森林資源の利用と保護のためには、このような様々な条件下の長期間森林の管理方法を学ぶのは大事であると思われました。森林資源が豊富な地域だったので、アメリカで一番大きい建築用の合板を作る会社がありました。規模は大きかったが、機械化が進んでいて働く人が少なかったことが印象的でした。年間降水量が1200mmで日本に比べれば少ないほうなので、小規模のダムが多かったです。



州立演習林



合板工場の見学



山中の魚の養殖所



そして、山には木が多かったので、雨が降っても一気に流れることなく、じわりじわりと冷たくて綺麗な水がゆっくり流れました。この水を利用して山の中で魚の養殖が行われていました。養殖場近くには、この魚を利用して作った料理を売るレストランも盛んでした。最近天然ガスの採掘技術が発達して、以前は利用できなかったセル層のガスまで利用することができて、山の中に貯蔵タンクとパイプがたくさん見えました。これが美しい自然の破壊につながらなければいいけど、経済論理で開発が進んでいるようでなんか後味が苦かったです。

* * * * *

ウェストバージニア州の隣にあるワシントン D.C.とワシントン D.C.から東北に400Kmぐらい離れているニューヨークを訪問しました。ウェストバージニア州の豊かな自然とは全く違う感じの巨大なビル群が、見る人を圧倒しました。特にスミスソニアンとメトロポリタン博物館はいくら回っても飽きない立派な博物館でした。展示物の質も高いし、本物の遺跡の中にあるような錯覚に陥るぐらい精密に作られていました。開店時間から閉店時間までお腹がすいていることも忘れて見て回っても、時間が足りなかったです。今回の研修で自然とアメリカの文化、両方に触れることができうれしかったです。

ニューヨーク
メトロポリ
タン博物館



ワシントン D.C.
スミスソニアン
博物館